

次期森林計画についての森林管理署の検討方向

— 目 次 —

1. 現行計画の概要
 - (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
 - (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
 - (3) 林産物の供給に関する事項
 - (4) 国民の参加による森林の整備に関する事項
2. 次期計画の検討方向
 - (1) 管理経営上の課題
 - (2) 計画内容

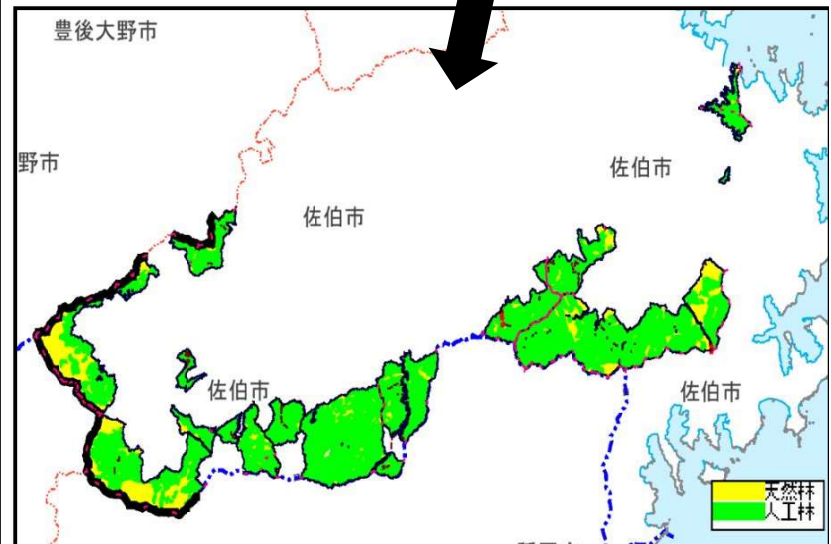
大分森林管理署

傾山

〔祖母山・傾山・大崩山周辺
森林生態系保護地域〕

1.現行計画の概要(令和2年4月1日～令和7年3月31日)

- 大分南部森林計画区は、県南部佐伯市全域に位置し、その対象は番匠川地区、赤松地区、藤川内地区及び傾山地区に所在する国有林野13,799haとなっています。
- 計画区内の森林資源は人工林が7,748ha(約56%)、天然林が5,656ha(約41%)、その他395ha(約3%)となっています。
- 本計画の対象とする国有林野の95%が水源かん養保安林となっており、佐伯市及び延岡市の水源域として重要な役割を担っています。
- 傾山地区の傾山周辺はモミ・ツガ等の原生的な天然林となっており、祖母傾国定公園に指定されるとともに、祖母・傾・大崩ユネスコパエコパークの核心地域に登録され、さらに森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝子資源の保存等を目的に祖母山・傾山・大崩山周辺森林生態系保護地域に設定しています。



(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

① 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に関する基本計画に即するとともに、国有林の地域別の森林計画と調和して、個々の国有林野を重点的に発揮させる機能によって、5つの機能類型に区分し、それぞれの機能区分ごとに公益的機能の維持増進を旨とした管理経営を行っています。

機能類型区分(面積)	機能類型区分の考え方	目指すべき森林の姿
山地災害防止タイプ (1, 570ha)	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視すべき森林	根や表土の保全、下層植生の発達した森林
自然維持タイプ (1, 049ha)	原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など多様性保全機能の発揮を重視すべき森林	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の生育・生息に適した森林
森林空間利用タイプ (0ha)	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視すべき森林	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林
快適環境形成タイプ (0ha)	快適な環境の形成の機能を発揮を重視すべき森林	汚染物質の高い吸着能力、抵抗性がある樹種から構成される森林
水源涵養タイプ (11, 180ha)	水源の涵養の機能を発揮を重視すべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を推進する森林であり、森林資源の有効利用にも配慮

② 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献の推進

県・市町村等との密接な連携を図るとともに、組織・技術力・資源を活用し、民有林経営の支援等に積極的に取り組んでいます。

佐伯市の林業振興協議会に参画し森林・林業行政等に対する技術支援を行っています。民有林と連携することで事業の効率化や低コスト化が図られる区域については森林共同施業団地の設定を推進しています。



令和4年度 佐伯市林業振興協議会

佐伯市林業振興協議会に参画し、国有林が持つ森林・林業技術の情報を提供し、佐伯市林業振興計画の達成に向け、支援を行っています。

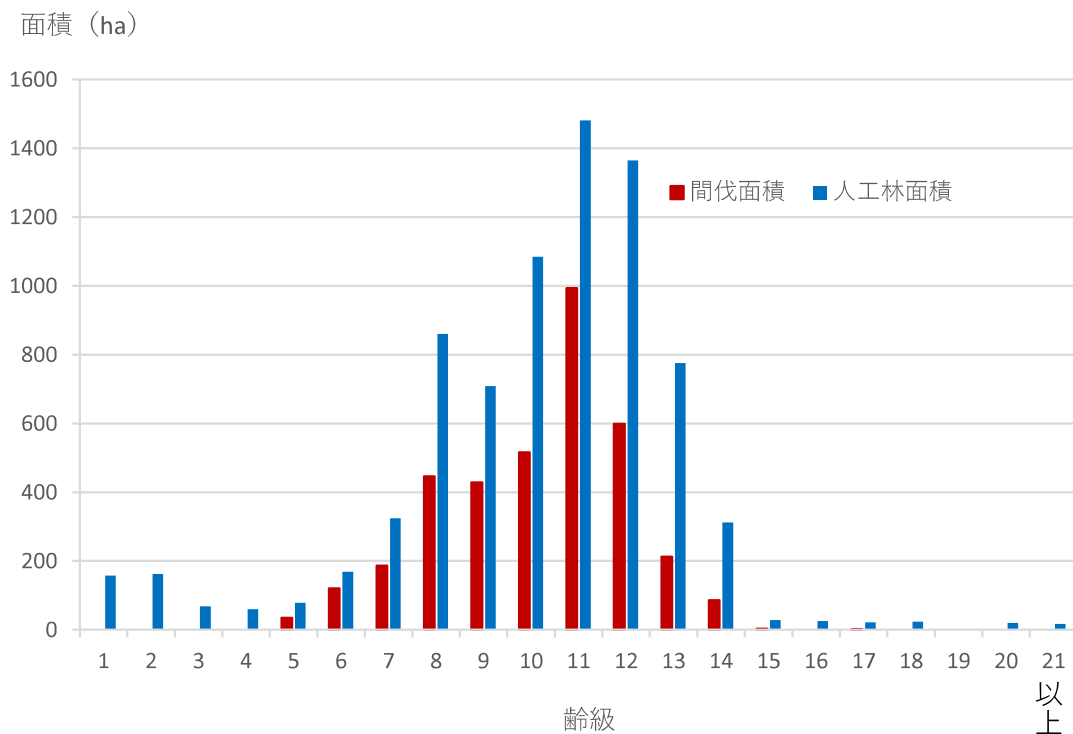


令和4年度森林整備推進協定 運営会議（大分森林管理署会議室）

佐伯市傾山地域の森林に「森林共同施業団地」を設定し、関係者が連携して民有林と国有林が一体となった効率的な路網整備や計画的な森林整備を行い、スケールメリットを生かした作業の低コスト化や安定供給体制の強化に取り組んでいます。

③ 地球温暖化に向けた積極的かつ着実な間伐の推進

本計画区の人造林の面積は7,748haで、間伐対象となる16年生から60年生までの人工林の面積は6,133ha（人工林面積の79%）です。また、現行計画（R2年度～R6年度）では間伐を約3,625ha計画しており、事業の実施に当たっては、効果的かつ効率的な実施に努め、国土や自然環境、生物多様性の保全等に十分配慮しつつ、森林吸収源対策のためにも間伐を推進しています。



注：1年齢級は1～5年生を表します。



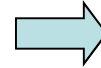
間伐を実施した人工林

④ 多様で健全な森林の整備・保全

間伐をはじめとした森林整備に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化など地域の現況を踏まえ、資源の循環利用を行いながら多様で健全な森林の整備・保全を推進しています。



現状(人工林)



針広混交林化



長伐期化された森林

⑤ 安全・安心の確保に向けた治山対策の推進

地域の安全・安心の確保に向けて山地災害化箇所等の治山事業による早期復旧や保安林の機能維持・向上に向けた森林整備に計画的に取り組んでいます。



大分県佐伯市宇目切込地区は下流部に養魚場が存在し、溪流内から取水していることから水質に影響の少ない工法を採用するとともに、地球温暖化防止や国産間伐材の利用推進などを考慮し、木製構造による床固工を実施しています。

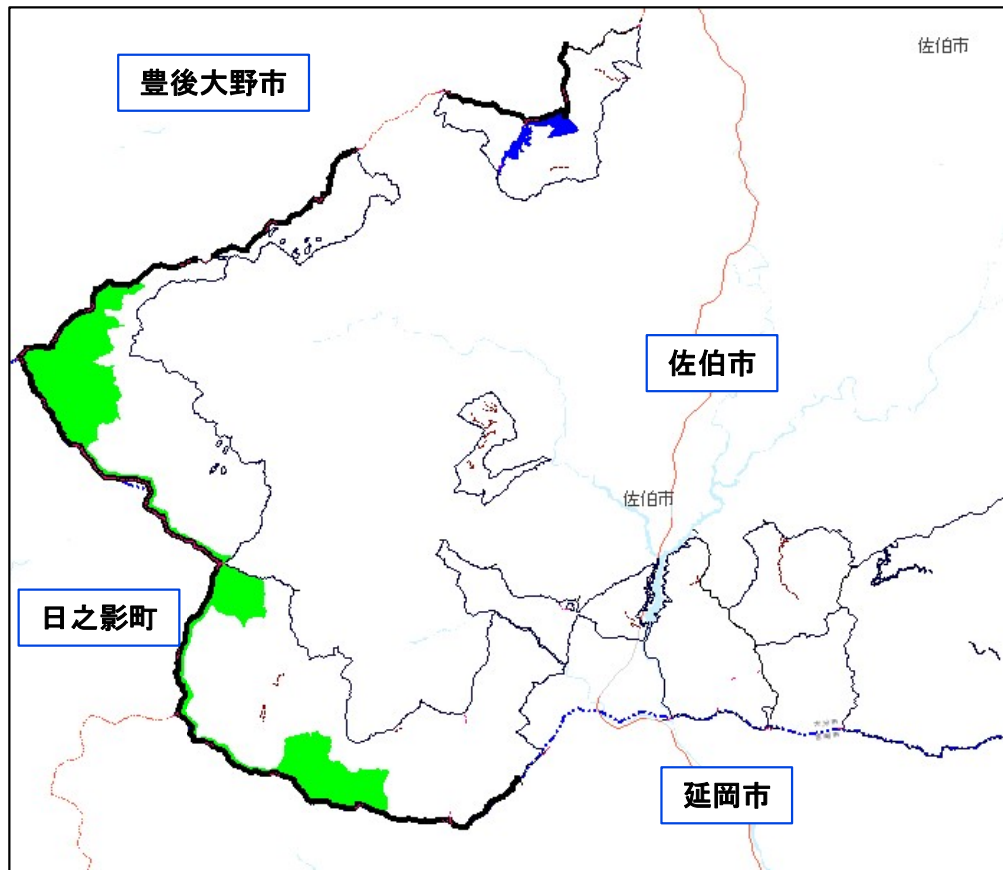




大分県佐伯市の宇目地区等をはじめとする流域内で発生した山地災害箇所等において、谷止工等による早期復旧に取り組んでいます。

(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

① 特に保護を図るべき森林(保護林)

本計画区には原生的な天然林や地域固有の生物群集を有する森林、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林が多く残されており、これらについては保護林に設定し、厳格な保護・管理に努めています。



凡例	名称	特徴・詳細	面積
	森林生態系保護地域 (祖母山・傾山・大崩山周辺)	冷温帯林に属し、モミ、ツガ、ブナ、ミズナラ等が高木層をなす原生的な状況を呈しており、非常に貴重なため。	710ha
	希少個体群保護林 (柏山)	日向アカマツ老齢天然林保存のため。	33ha

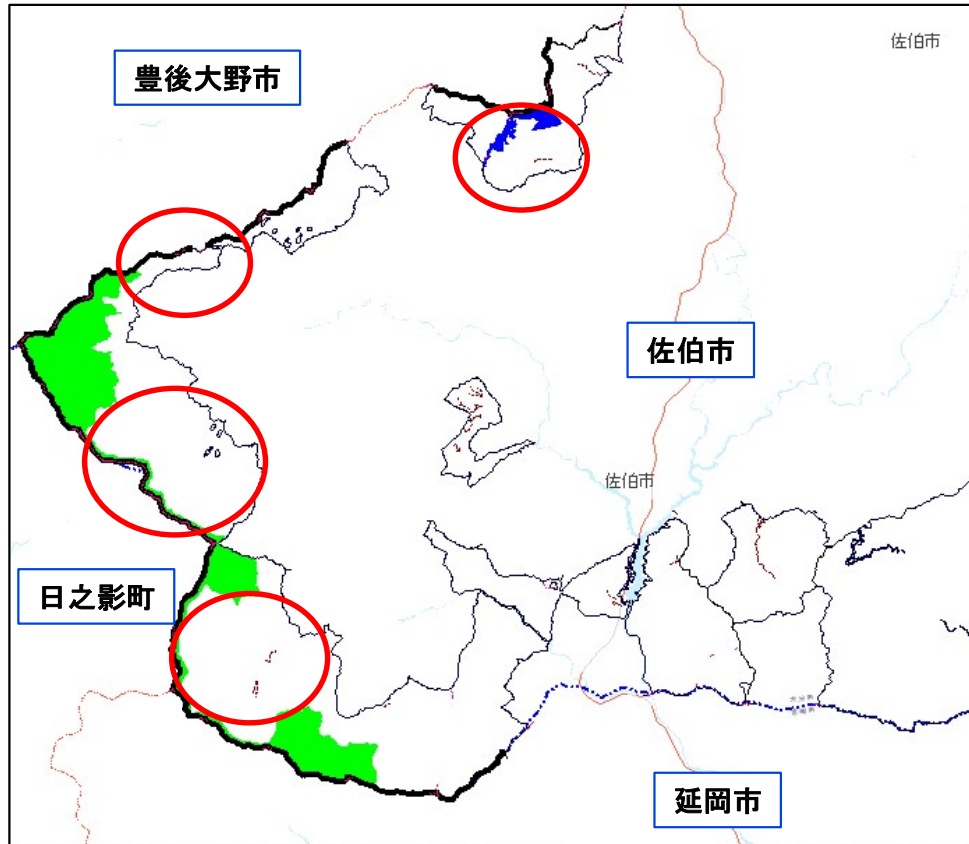


祖母山・傾山・大崩山周辺森林生態系保護地域

② 野生鳥獣被害対策

平成29年から佐伯市及び猟友会と協定を結び、捕獲場所の提供・ワナの貸与・捕獲に取り組んでいます。

また令和2年度から保護林周辺地域において国土保全のためのシカ捕獲事業委託を実施し、シカ被害の低減に努めています。



凡例	名称	詳細	
○	国土保全のためのシカ捕獲事業	保護林周辺のシカ被害の低減のため。	4箇所



くくりワナによるシカ捕獲の様子

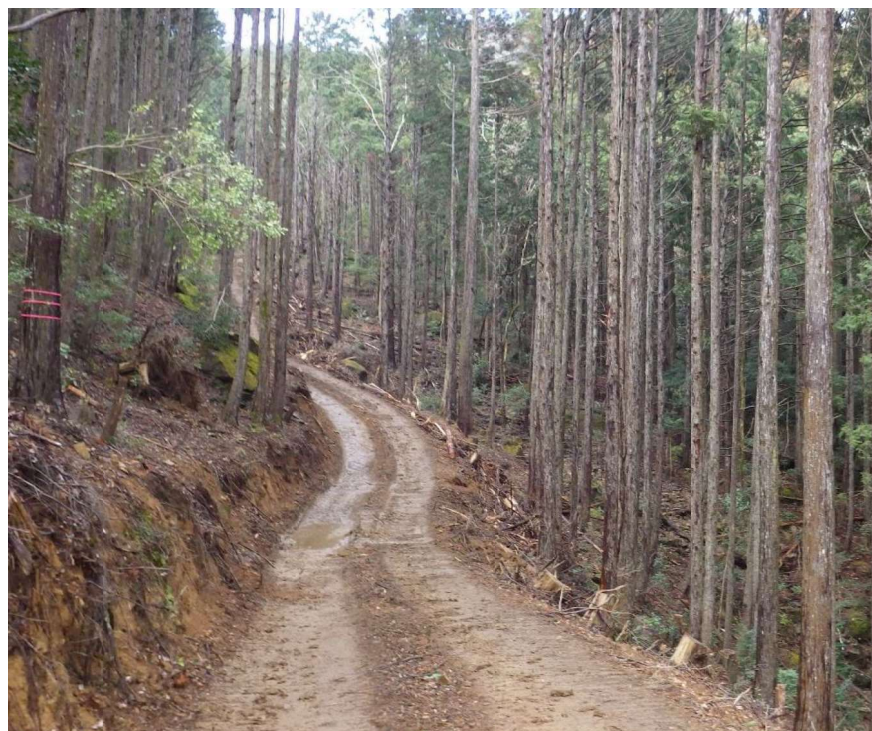
(3) 林産物の供給に関する事項

① 高効率・低コストな作業システムの定着

列状間伐や路網と高性能林業機械を組み合わせた高効率・低コストな作業システムの定着を図りつつ、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握し、国有林材の計画的・安定的な供給を推進しています。



集成材工場や合板工場、製材工場等の原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」を推進しています。



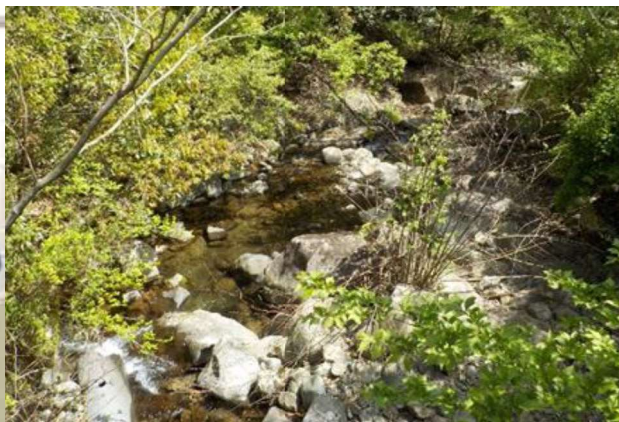
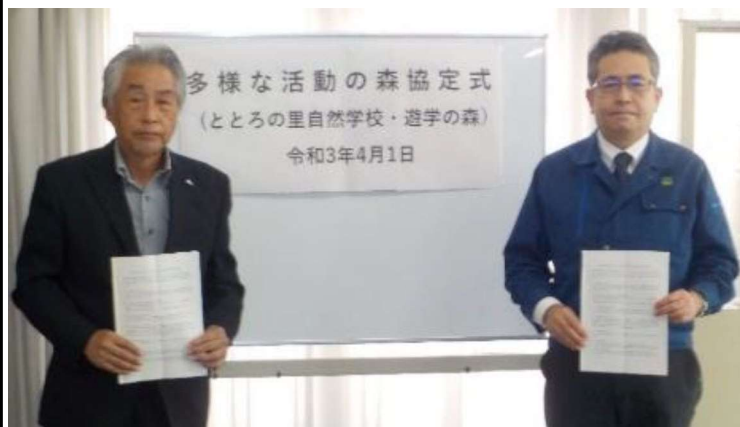
林業生産コストの削減を図るため、簡易で崩れにくい路網の整備を推進しています。

(4) 国民の参加による森林の整備に関する事項

① 国民参加の森林づくり

豊かな自然環境を有する国有林野と多様な体験活動の場として、積極的に提供し森林環境教育の推進に努めるとともに、国有林野をフィールドとした国民参加の森林づくりを推進しています。

国民の自主的な参加による森林整備活動や森林づくりに自ら参加・協力したいという企業等の要請に応えるため分収制度の活用による森林整備を推進します。



NPO法人と多様な活動の森協定を締結し、佐伯市宇目の国有林を、市民や子供たちに森林体験・自然観察などの多様な活動の場として提供しています。

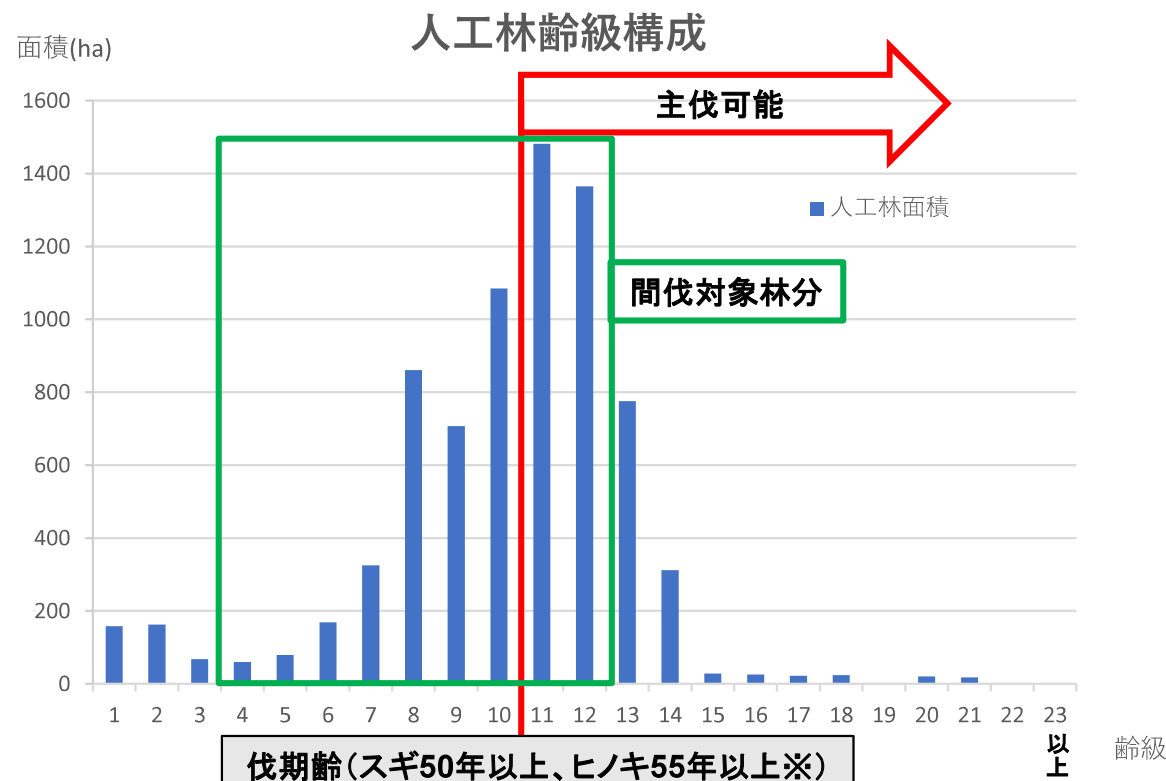


国有林野内への不法投棄に対して、ボランティアの協力をいただき、クリーン活動を行っています。

2 次期計画の検討方向

(1) 管理経営上の課題

- 本計画区の国有林野が有する水源かん養機能や山地災害防止機能等の公益的機能の持続的な発揮を確保していく必要があります。
- 次期計画においても間伐対象となる16年生から60年生の人工林の割合は80%と依然として多くを占めており、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策の上からも間伐を推進する必要があります。また、伐期を迎えた主伐可能林分が多くなることから、計画的な間伐とともに主伐も計画し、森林資源の循環利用の観点からも確実な更新を図る必要があります。



※スギ・ヒノキ普通伐期施業群を例示。伐期齢は施業群によって異なります。

- 森林病虫害等に強い多様な森林の造成を立地条件に応じ、推進していく必要があります。
- 国有林材の計画的・安定的な供給を実現するため、生産事業のコスト縮減と生産性向上を進める必要があります。
- 深刻化している野生鳥獣被害対策等を関係機関と連携を図りつつ、計画的に防除活動等を総合的かつ計画的に進める必要があります。
- 本計画区には森林生態系保護地域等の保護林を設定しており、これらの国有林野を適切に保全・管理していく必要があります。
- 国民の自主的な参加による整備活動や森林づくりに自ら参加したいという企業等の要請については、適切に応えていく必要があります。
- 国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策や森林整備に取り組む必要があります。



森林生態系保護地域でのシカの食害により
下層植生が消失した森林状況



下層植生回復に向けたシカ防護柵の設置状況

(2) 計画内容

- 公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き間伐を推進する方向です。
- 伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能にする「新しい林業」の実現に向けて、造林・生産・販売等に係る先進的な技術の導入を進める方向です。
- 国有林材の計画的・安定的な供給と生産事業のコスト縮減と生産性の向上を図るとともに、林地保全に配慮した簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進する方向です。
- 林産物の供給に当たっては、高効率・低コストな作業システムの定着を進める方向です。
- 野生鳥獣被害対策等については、森林被害のモニタリングを推進し、その結果を踏まえて、捕獲や防護柵の設置等を計画的に推進する方向です。
- 我が国を代表する原始的な天然林や希少な野生生物の生育・生息に必要な森林については保護林として厳格に保護管理する方向です。
- 社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるため、「分収林」制度を活用して、森林整備を推進する方向です。
- 民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、地域住民と協働して災害を減らす対策を進める方向です。